

五ヶ丘まちづくりニュースレター



第6号



令和7年度 第3回五ヶ丘まちづくりワークショップを開催しました！

9月28日（日）に、令和7年度第3回「五ヶ丘まちづくりワークショップ」を益富交流館で開催しました。今回は、益富中学校2年生の生徒さん、五ヶ丘地区教育環境検討協議会委員の皆さんにもご参加いただき、総勢55名の大会合となりました。

五ヶ丘が目指す地域の姿を取りまとめることを目標に、今回は「子育て・教育」をテーマとして、子どもたちにとって魅力あるまちであるためには、また子育てしやすいまちであるためには何が必要か、何ができるかについてみんなで意見交換しました。



田舎の幸せ・都市の便利さ、
いいところ取りをしながら、
「いいまち・愛する五ヶ丘」に
なれればいいと思います。



あいさつ

五ヶ丘自治区連合会の寺崎会長から、あいさつ頂きました。

①豊田市の「教育」に関する現状説明

寺崎会長のあいさつ

教育政策課担当者から『豊田市の「教育」の現状等について』と題してミニレクチャーがありました。『つながりの中で、誰もが学び合いながら、自分らしく豊かな人生を切り拓く』を学びの大綱の基本理念に掲げていること、そして、子どもたちと地域の人々が学び合うことを大切にしていきたいとの説明がありました。

また、五ヶ丘地区学校再編検討協議会において、令和7～8年度にかけて小学校の教育環境、学校再編の方針に関する協議を進めていくとの報告がありました。

〔牧野 篤 様（大正大学教授、東京大学名誉教授、五ヶ丘まちづくりアドバイザー）からの一言コメント〕

- AIなどで社会は急速に変化しており、大人が背中を見せる時代から、子どもたち自身が新しい社会を築く時代へと移っている。
- 自分達には何ができるのか意見を出していただきたい。

生後3か月の赤ちゃんも参加してくれました。→



②グループワーク 『五ヶ丘の将来を語ろう！～子育て・教育編～』

最初に、中学生のみなさんから、五ヶ丘がこんなまちになるといいなと思うことを、一言ずつ発表していただきました。そのあと、6つのグループに分かれて、五ヶ丘の子育て・教育について意見交換していきました。

【主な意見】○：中学生、●：大人

- 歳を重ねても、つながるネットワークを若いときにつくる。
- 若いうちからネットワークをつくり、子育ての悩みを話し合える関係をつくろう。
- イベントを増やしてほしい。中学生ボランティアを募集したりして、若い人達がイベントを創り上げるのもいい。
- スポーツ、ゲームなどで楽しむイベントをみんなで企画する。
- LINEグループをつくって、自治区を盛り上げる仕組みなどを考える。
- 絆を深めるために、運動会を復活しよう。
- メグリアをイベント広場として有効活用しよう。
- 学生向けの自習室を増やしてほしい。集会所の開放とか。
- 学校跡地にみんなが集まれるスペースを設けてもいい。みんなで気楽にいけるお店をつくろう。
- 小中学校に意見箱を設置して、子どもたちもまちづくりに参加していく。
- 地域の人と子育てするまちになればと思う。若い世代と高齢者(子育てサポーター)のWin-Winの関係をつくろう。高齢者も活躍できる。



③講評

◇牧野 篤 様（大正大学教授、東京大学名誉教授、五ヶ丘地区まちづくりアドバイザー）

- 皆さん自身ができることを具体的に考えて、仲間を増やしていくことは非常に大事である。
- 小中学生時代に大人と関わる経験をした子どもは利他性が育まれ、将来、社会に貢献したいという意識が芽生えることが分かっている。子どもたちの根っこをつくっていくことにもなる。
- 中学生が自治会の役員になってまちづくりに関わっている事例もある。



牧野様

④今後のワークショップについて

12月（第6回）まで、テーマを決めて毎月ワークショップを開催します。参加を希望される方、ご興味のある方は、下記の連絡先へご連絡ください。

※ワークショップの内容や年間スケジュールは市HPでご覧いただけます。👉

・第4回10月26日（日）14:00～16:00 テーマ：五ヶ丘の「医療・福祉」

・第5回11月29日（土）14:00～16:00 テーマ：五ヶ丘の将来像を考える①



【発 行】五ヶ丘自治区連合会、豊田市（高橋支所地域振興担当）令和7年10月

【連絡先】電話：0565-80-0077、メールアドレス：takahashi-shisho@city.toyota.aichi.jp